

LM・ブラジル国債ファンド (年2回決算型)

運用報告書 (全体版)

第21期 決算日 2019年3月13日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・レアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	年2回の決算日(原則として毎年3月13日及び9月13日。休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問合わせ先：

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「LM・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)」は、2019年3月13日に第21期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 配 金	騰 落 率			
	円	円	%	%	%	百万円
17期(2017年3月13日)	14,978	10	28.5	97.6	—	3,705
18期(2017年9月13日)	15,358	10	2.6	97.9	—	4,855
19期(2018年3月13日)	14,950	10	△ 2.6	97.9	—	3,880
20期(2018年9月13日)	12,303	10	△17.6	97.6	—	3,122
21期(2019年3月13日)	14,405	0	17.1	97.8	—	3,674

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	率		
(期首)	円	%	%	%	%
2018年9月13日	12,303	—	—	97.6	—
9月末	13,083	6.3	—	97.5	—
10月末	14,500	17.9	—	97.7	—
11月末	14,054	14.2	—	96.2	—
12月末	13,842	12.5	—	95.3	—
2019年1月末	14,486	17.7	—	99.3	—
2月末	14,610	18.8	—	98.5	—
(期末)					
2019年3月13日	14,405	17.1	—	97.8	—

(注1) 騰落率は期首比です。

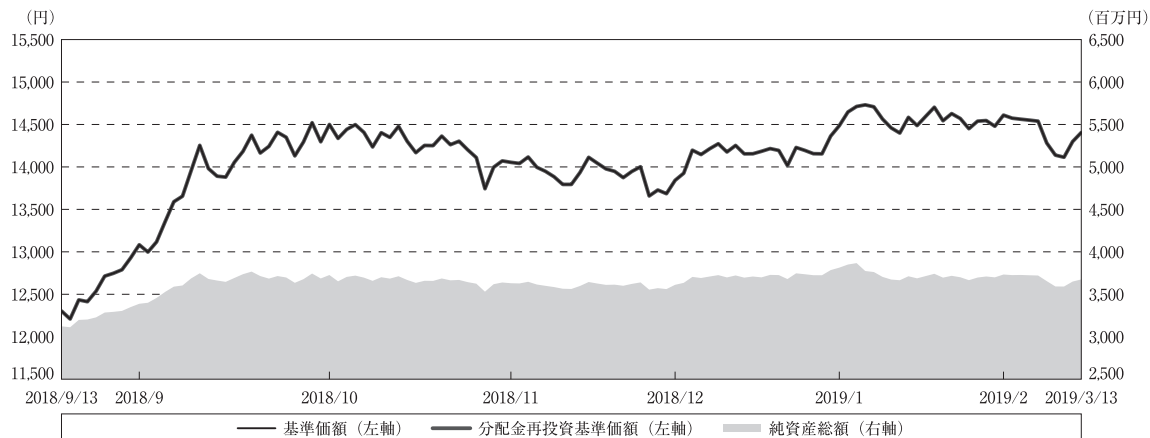
(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年9月14日～2019年3月13日)



期首：12,303円

期末：14,405円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：17.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2018年9月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期のパフォーマンス(騰落率)はプラスとなりました。ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。また、公社債損益がプラスとなったことに加え、ブラジルリアル高・円安を反映し為替損益もプラスとなりました。

当期のブラジル債券市場では、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、米国の金利上昇による新興国市場への過度な警戒感が後退し、投資家のリスク回避姿勢が緩んだことなどから、利回りは低下しました。さらに、ブラジル大統領選で市場参加者が支持するボルソナロ氏が勝利したことが好感され、ブラジル資産への選好が強まったことも、利回りの低下要因となりました。

期の半ばは、ブラジル中央銀行（BCB）が2018年12月の金融政策委員会（COPOM）でインフレ見通しを下方修正し、ハト派的な姿勢を示したことを受け、利回りは低下しました。また、ボルソナロ新政権による年金改革への期待感が高まったことも利回りの低下につながりました。

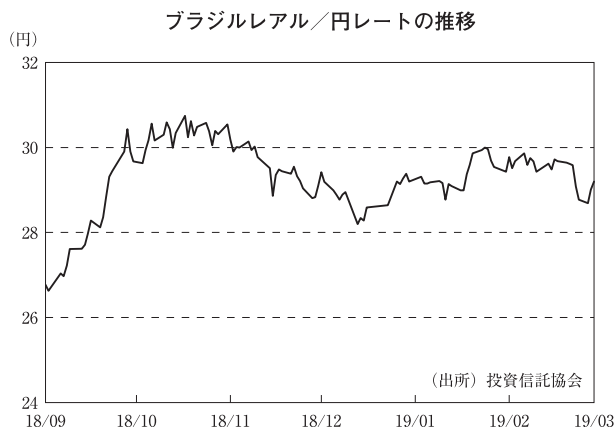
期の後半は、ボルソナロ政権が年金改革法案を議会に提出したことを好感して、利回りは低下しました。米国国債利回りが低下したことや、米中貿易協議の進展期待が強まったことも、利回りの低下につながりました。しかし、その後、年金改革法案の議会審議が難航するとの慎重な見方が広がり、利回りはやや上昇（価格は下落）しました。



当期のブラジルリアル・円相場は、リアル高・円安となりました。

期の前半は、新興国市場への過度な警戒感が後退したことなどから、リアル買い・円売りが優勢となりました。さらに、ブラジル大統領選でボルソナロ氏が勝利したことが好感され、リアル買いが強まりました。

期の半ばは、米中貿易摩擦への警戒感や世界的な株安などを受け、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、リアル安・円高となりました。BCBがハト派的な姿勢を示したこともリアル売りにつながりました。しかし、その後、世界的な株式市場の持ち直しなどから、リアルは対円で買い戻しが優勢となりました。



期の後半は、米連邦公開市場委員会（FOMC）において、今後の利上げ休止を示唆する慎重姿勢が示されたことや、ブラジルの年金改革法案が議会に提出されたことなどから、リアル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後、年金改革法案の議会審議が難航するとの見方が広がり、リアルは上値が抑えられました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年9月14日～2019年3月13日)

当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

分配金

(2018年9月14日～2019年3月13日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第21期
	2018年9月14日～ 2019年3月13日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	11,517

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2018年9月14日～2019年3月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 117	% 0.830	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(57)	(0.402)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(57)	(0.402)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	14	0.098	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(11)	(0.076)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 等 費 用)	(2)	(0.014)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	131	0.928	
期中の平均基準価額は、14,095円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年9月14日～2019年3月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
LM・ブラジル国債マザーファンド	千口 387,668	千円 639,908	千口 397,540	千円 673,776

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年9月14日～2019年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2018年9月14日～2019年3月13日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年9月14日～2019年3月13日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年3月13日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
LM・ブラジル国債マザーファンド		2,135,690	2,125,818	3,705,726

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年3月13日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
LM・ブラジル国債マザーファンド	千円 3,705,726	% 99.7
コール・ローン等、その他	10,902	0.3
投資信託財産総額	3,716,628	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) LM・ブラジル国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(50,441,475千円)の投資信託財産総額(51,153,641千円)に対する比率は98.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=111.29円、1ブラジルレアル=29.20円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年3月13日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	3,716,628,530	
LM・ブラジル国債マザーファンド(評価額)	3,705,726,875	
未収入金	10,901,655	
(B) 負債	41,815,752	
未払解約金	10,901,655	
未払信託報酬	30,114,321	
その他未払費用	799,776	
(C) 純資産総額(A-B)	3,674,812,778	
元本	2,551,137,793	
次期繰越損益金	1,123,674,985	
(D) 受益権総口数	2,551,137,793口	
1万口当たり基準価額(C/D)	14,405円	

<注記事項>

元本の状況

期首元本額

2,538,145,805円

期中追加設定元本額

466,866,675円

期中一部解約元本額

453,874,687円

○損益の状況 (2018年9月14日～2019年3月13日)

項 目	当 期	円
(A) 有価証券売買損益	506,427,075	
売買益	586,209,612	
売買損	△ 79,782,537	
(B) 信託報酬等	△ 30,914,097	
(C) 当期損益金(A+B)	475,512,978	
(D) 前期繰越損益金	△ 290,916,005	
(E) 追加信託差損益金	939,078,012	
(配当等相当額)	(2,316,940,256)	
(売買損益相当額)	(△1,377,862,244)	
(F) 計(C+D+E)	1,123,674,985	
(G) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(F+G)	1,123,674,985	
追加信託差損益金	939,078,012	
(配当等相当額)	(2,319,386,559)	
(売買損益相当額)	(△1,380,308,547)	
分配準備積立金	618,825,322	
繰越損益金	△ 434,228,349	

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するため要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	当 期	円
(A) 配 当 等 収 益(費用控除後)	148,349,976円	
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	
(C) 収 益 調 整 金	2,319,386,559	
(D) 分 配 準 備 積 立 金	470,475,346	
分 配 対 象 収 益 額(A+B+C+D)	2,938,211,881	
(1万口当たり収益分配対象額)	(11,517)	
収 益 分 配 金	0	
(1万口当たり収益分配金)	(0)	

LM・ブラジル国債マザーファンド

運用状況のご報告

第11期 決算日 2019年3月13日

(計算期間：2018年3月14日～2019年3月13日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ブラジル国債マザーファンド」の第11期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主としてブラジル・リアル建てのブラジル国債を中心に投資を行います。 2. 原則として外貨建資産の為替ヘッジを行いません。 3. 債券の流動性や残存年数に配慮しながらポートフォリオを構築します。
主 要 運 用 対 象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	中率			
7期(2015年3月13日)	円 13,883		% △ 3.8	% 96.6	% —	百万円 88,496
8期(2016年3月14日)	12,677		△ 8.7	97.2	—	59,834
9期(2017年3月13日)	17,469		37.8	96.9	—	67,945
10期(2018年3月13日)	17,757		1.6	96.9	—	60,032
11期(2019年3月13日)	17,432		△ 1.8	97.0	—	51,018

(注1) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注2) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率
		騰	落率		
(期首) 2018年3月13日	円 17,757		% —	% 96.9	% —
3月末	17,640		△ 0.7	97.1	—
4月末	17,347		△ 2.3	96.5	—
5月末	15,909		△10.4	95.6	—
6月末	15,584		△12.2	95.1	—
7月末	16,436		△ 7.4	98.9	—
8月末	14,668		△17.4	97.9	—
9月末	15,713		△11.5	97.4	—
10月末	17,439		△ 1.8	97.4	—
11月末	16,928		△ 4.7	95.8	—
12月末	16,696		△ 6.0	94.9	—
2019年1月末	17,496		△ 1.5	98.7	—
2月末	17,668		△ 0.5	97.8	—
(期末) 2019年3月13日	17,432		△ 1.8	97.0	—

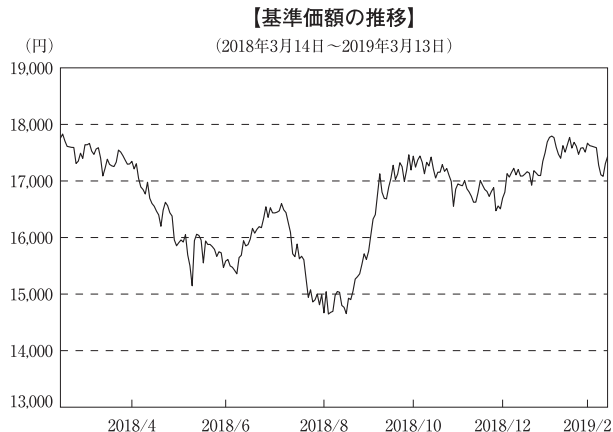
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年3月14日～2019年3月13日)



○基準価額の主な変動要因

当期のパフォーマンス（騰落率）はマイナスとなりました。為替損益が、ブラジルリアル安・円高を反映してマイナス寄与となりました。一方、ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保しました。公社債損益についても、債券利回りが低下したことからプラスに寄与しました。

当期のブラジル債券市場では、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、米中貿易摩擦懸念やブラジルの大統領選を巡る政局の混迷などから、利回りは上昇（価格は下落）しました。さらに、米国の金利上昇を背景に新興国からの資金流出懸念が高まったことや、ブラジル中央銀行（BCB）が2018年5月の金融政策委員会（COPOM）において、市場予想に反して利下げを見送ったことなどから、利回りは一段と上昇しました。

期の半ばは、トルコ情勢の悪化などを受け投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、ブラジル大統領選を巡り政局の混迷が深まったことなどから、利回りは上昇しました。しかし、その後、大統領選で市場参加者が支持するボルソナロ氏が勝利したことが好感され、ブラジル資産への選好が強まったことなどから、利回りは低下しました。

期の後半は、BCBが12月のCOPOMでインフレ見通しを下方修正し、ハト派的な姿勢を示したことを受け、利回りは低下しました。また、ボルソナロ政権による年金改革への期待感が高まったことも利回りの低下につながりました。

当期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、BCBが2018年3月のCOPOMで追加利下げの可能性を示唆したことや、大統領選を巡る不透明感などを背景に、リアル売り・円買いが優勢となりました。また、米国の金利上昇を受けて新興国からの資金流出懸念が高まったことも、リアル売りを強めました。

期の半ばは、トルコ情勢の悪化などから投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、大統領選を巡り政局の混迷が深まったことなどから、リアル売り・円買いが優勢となりました。しかし、その後、新興国市場への過度な警戒感が後退したことや、大統領選でボルソナロ氏が勝利したことが好感され、リアル買い・円売りが優勢



となりました。

期の後半は、米中貿易摩擦への警戒感や世界的な株安などを受け、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、リアル安・円高となりました。しかし、その後、ブラジルの年金改革への期待感などから、リアル買い・円売りが優勢となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2018年3月14日～2019年3月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 26 (26)	% 0.158 (0.158)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	26	0.158	
期中の平均基準価額は、16,627円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年3月14日～2019年3月13日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 934,132	千ブラジルリアル 954,499 (83,950)

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年3月14日～2019年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年3月13日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	1,629,730	1,695,016	49,494,468	97.0	97.0	—	29.6	67.4
合 計	1,629,730	1,695,016	49,494,468	97.0	97.0	—	29.6	67.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
	国債証券					
	BLAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	87,300	85,500	2,496,617	2019/7/1
	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	17,800	17,738	517,954	2019/4/1
	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA)	—	137,000	132,346	3,864,529	2019/10/1
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	899,930	942,188	27,511,913	2021/1/1
	BRAZIL-NTN-F (NOTA TESO N)	10.0	487,700	517,241	15,103,453	2023/1/1
合 計					49,494,468	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年3月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	49,494,468	96.8
コール・ローン等、その他	1,659,173	3.2
投資信託財産総額	51,153,641	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(50,441,475千円)の投資信託財産総額(51,153,641千円)に対する比率は98.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=111.29円、1ブラジルレアル=29.20円です。

○特定資産の価格等の調査

(2018年3月14日～2019年3月13日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年3月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	51,312,411,079
コール・ローン等	749,509,682
公社債(評価額)	49,494,468,013
未収入金	305,535,333
未収利息	736,828,142
前払費用	26,069,909
(B) 負債	294,051,489
未払金	159,130,400
未払解約金	134,918,993
未払利息	2,096
(C) 純資産総額(A-B)	51,018,359,590
元本	29,266,666,535
次期繰越損益金	21,751,693,055
(D) 受益権総口数	29,266,666,535口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,432円

<注記事項>

- (注1) 元本の状況
- | | |
|-----------|-----------------|
| 期首元本額 | 33,807,073,092円 |
| 期中追加設定元本額 | 6,694,279,122円 |
| 期中一部解約元本額 | 11,234,685,679円 |
- (注2) 期末における元本の内訳
- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型) | 25,503,730,666円 |
| LM・ブラジル国債ファンド(年2回決算型) | 2,125,818,538円 |
| LM・ブラジル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用) | 1,636,328,353円 |
| LM・ブラジル国債ファンド(適格機関投資家専用) | 788,978円 |

○損益の状況 (2018年3月14日～2019年3月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,569,982,242
受取利息	4,570,448,874
支払利息	△ 466,632
(B) 有価証券売買損益	△ 5,627,011,623
売買益	567,741,675
売買損	△ 6,194,753,298
(C) 保管費用等	△ 81,463,486
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,138,492,867
(E) 前期繰越損益金	26,225,031,934
(F) 追加信託差損益金	4,227,072,851
(G) 解約差損益金	△ 7,561,918,863
(H) 計(D+E+F+G)	21,751,693,055
次期繰越損益金(H)	21,751,693,055

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。